

食べている限り、誰の隣にも「農」はある
なのにどうして
これほど「農」の世界は
私たちから遠いのか

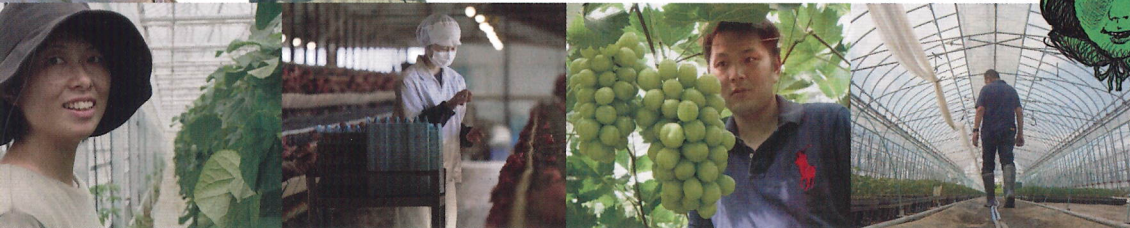
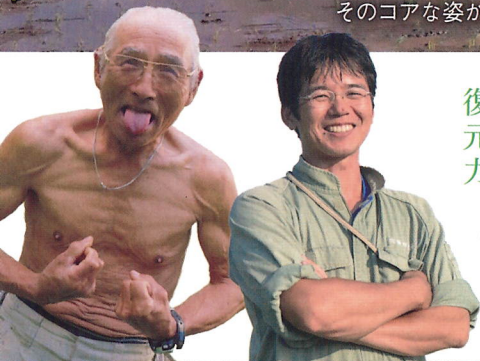
「百姓」とは、
何でも自分でできる人
という意味で
農家にとっては
誇りに思う言葉です

和食を撮って世界を魅了した『千年の一滴 だし・しょうゆ』の
柴田昌平監督が、食の原点である農と向き合った。
全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を
美しい映像と丁寧なインタビューで紡ぎ出す。
田んぼで農家の人たちが何と格闘しているのか
ビニールハウスの中で何を考えているのか。
多くの人が漠然と「風景」としか見ていない営みの
そのコアな姿が、鮮やかに浮かび上がる。

今後、経済が下向き
食糧輸入に頼れなくなると予想される日本で
いま必要とされる力は、レジリエンシー：復元力。
百姓たちには本来これが備わっている。
映画に登場する百姓たちは
小手先では解決しないさまざまな矛盾を
独自の工夫で克服していく。

今後、経済が下向き
食糧輸入に頼れなくなると予想される日本で
いま必要とされる力は、レジリエンシー：復元力。
百姓たちには本来これが備わっている。
映画に登場する百姓たちは
小手先では解決しないさまざまな矛盾を
独自の工夫で克服していく。

「耕す人々」の世界の入り口が、ここにある



柴田監督の開かれた知と情熱は、個々のお百姓さんに蓄えられてきた
膨大な叡智にアクセスすることを試みた。

「批判」「対立構造」「問題解決」という安易な提示に慣れきっている私たちに
この世界は、もっともっと複雑で奥深く

それを理解し創意工夫するお百姓さんの喜びや面白さを伝える。

日本の農業の厳しい現状を想像しつつも

ひとりひとりの姿を見ていたら力が湧いてきた。 額綱あや(映画監督)

百姓の
土声の

www.100sho.info

制作・配給 プロダクション・エイシア
Tel 042-497-6975
Mail info@asia-documentary.com



監督
監修
題字
制作

2023年 1/13(金) まで延長決定
上映時間は劇場にお問合わせください

農家の女性と監督
高橋慶太 音声：柳田敬太
デスク：宮川尚子
エイシア

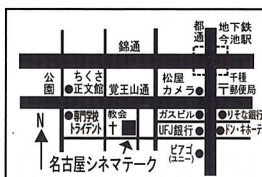
12/24(土)～12/30(金) 10:00

※12/25(日) 柴田昌平監督舞台挨拶！※1/2(月)以降は未定。12/31(土)&1/1(日)は休館。
前売券 1400円 ※当館窓口、市内一部プレイガイドにて12/23(金)まで発売中です。
(当日券 一般 1700円 大学生 1400円 シニア 1200円)
ご夫婦割引・レディースデーは1名様1100円

http://cineaste.jp
名古屋市中千種区今池1-6-13
今池スタービル2F

名シネマテーク

地下鉄今池駅・UFJ銀行西180m tel.052-733-3959



ようこそ、食べ物が生まれる国へ



ドキュメンタリー映画
百姓の
声

制作・著作・配給：プロダクション・エイシア
制作協力：一般社団法人 農山漁村文化協会
2022年 | 日本 | 130分 | カラー | DCP

柴田昌平 監督作品

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(映画創造活動支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会